

カタルーニャ・クロッシング

カタルーニャと日本。人や企業、そして芸術、生活がクロスする現場を探ります。

第19回 千葉 望愛選手 田中 ひとみ選手

女子サッカースペインリーグ「SE AEM(Lleida)」所属

「なんとかなる。なんとかするしかない！」

左:千葉望愛選手 右:田中ひとみ選手



AMICS 今回は女子サッカー、スペインリーグで挑戦を続けている千葉望愛(みのり)さん、田中ひとみさんにインタビューができました。二人とも現在はカタルーニャのプロチーム「SE AEM(Lleida)リエイダ」に所属されています。まずは二人ともなぜスペインリーグだったのでしょうか？

千葉望愛(以下M) 中学の時はじめてサッカーで海外に行きました。以来ずっと「海外に住みたい！」志向だったんです。行けるならどこでもと思っていたら、スペインで働いていた大学の先輩の縁でスペインのチームのトライアウトを受けました。まだスペインもそれほど強くない、これだったら試合に出られるとも思って。

田中ひとみ(以下H) 私も最初は日本のチームにはいりませんが海外への興味が強く、高校の先輩がスペインでサッカーをやっている、エージェントを紹介してもらい「アルバセテ」のチームから始めました。スペイン語はまったくできませんでしたが、この最初のチームに日本人選手が一人いたので、すごく助けてもらいました。

AMICS 二人とも幾つものチームを渡ってきた中堅のプレーヤー、プロとしての給料ってどのくらい？

H ちょこっとです。ぎりぎり食べていけるくらいです。チームとの交渉は代理人がやってくれるけど、私たち二人ともディフェンスだから得点ボーナスみたいな成果報酬もないし。

M 1年目は給料はなしです。それ以降はにやにやにちょこっと(苦笑)。労働協約や選手としてやっていく最低保証が用意されているのはトップリーグだけです。2部、3部になるとそれさえないしまだプロ



写真:WOSO PROMISES MAGAZINE

とはいえません。住まいはチーム持ちです。今は4人でシェアをしていて4ルームとリビング、キッチン、バス・トイレが2つのアパートメントです。あ、プールもあります。

AMICS どんな日常？試合がない日とかは。

H 朝ごはん、練習は午後4時から6時までなので、それまではスペイン語の勉強やら買い物やらです。

M 食事は自炊です。試合の時のホテルメニューも必ずサラダ、ごはんかパスタにトマトソース、鶏むね肉、たまにも肉を焼いただけで味付けはなし(笑)、デザートはフルーツかヨーグルト。

AMICS あんまり美味しそうには響かないですね。

M ホテルではスポーツ選手メニューって決まってるようです。揚げ物は絶対NG。なので試合に行っても土地の名物料理っていうわけにはいかないですね。

H 私はおまけにグルテンフリーですから。

AMICS 好きなスペイン料理は？

M コルドバではサルモレホをよく食べました。あとレンテハスっていうレンズ豆の煮込み。

H やっぱりバエリア、それに生ハムです。

AMICS チームメイトや練習はどんな感じですか？

H AEM(リエイダ)チームにはカタルーニャの選手が少なく、スペインの他の地方出身者か、ウルグアイとか南米、あるいはアメリカの選手です。会話はスペイン語、でも監督やコーチ同士はカタルーニャ語です。

M ジムでは日本と違って筋トレが主体です。日本では体幹トレーニングが中心でした。練習場まで5キロくらい。基本公共交通機関かチームメイトのクルマに同乗しています。



AMICS サッカーのスタイルやゲームの組み立てはどうなんでしょう？

M 自分たちのスタイルという固定化されたこだわりはないかな。いい意味です。ゲームにあたってはビデオ研究をしっかりとやって、相手によってフォーメーションも戦術も変えます。日本にいたころは選手同士で話し合ってたけど、こちらでは監督に必ず聞いて、監督が指示・解決するのでそこは違うなと。

写真:WOSO PROMISES MAGAZINE



AMICS これまでのチームでよかったところはどこ？千葉さんはカナリアにもいたんですね。

M カナリア!めっちゃくちゃ良かったです。気候も暖かいし!でも試合移動は飛行機とバスの両方になって大変でした。カタルーニャ(本土)にいたって長いバス移動は10時間もかかることがあります。

カナリアには日本人の方も多くて、なかでも沖さんという方にはいろいろお世話になりました。

AMICS カナリア諸島は日本からのマグロ漁の基地だったので、関係者が多くいると思います。田中さんはアルバセテ、コルドバ、サンタテレサ、リエイダと。

H アルバセテは特に観光できる場所はなかったのですが、次のコルドバは世界遺産があり、歴史ある街で、南らしく人も明るくて思い入れがあります。

M こりエイダは住環境は整ってるけど、あまり面白いところはないよね。それとエスカルゴが有名らしく、鉄板で焼いてアリオリソースつけてつまんでいます。

H リエイダは交通の要所、1時間でバルセロナにもサラゴサにも出かけるのは便利です。

AMICS ではスペインでプレーしてよかったのはどんなところになりますか？

M サッカーではミスしないようにという気負いが減りました。サッカーはミスをするスポーツですから、これはとてもプラスなこと。対人関係だと日本って本心で仲良くなるのに時間がかかる。スペインの人はすぐ泣く、怒る(笑)とにかく感情や表情も豊か。親しくなりやすい。練習後のロッカールームなんてすごいです(笑)。人間性っていかその人の本能的な部分がバーンとでてきます。

H 私は視野が広がったというか。電車だって遅れて来るのが当たり前だし、物事にいちいち動じなく忍耐強くなりました。サッカーもまさにそうですね。

AMICS 最後に海外の選択肢を考えている後輩たちにひとこと。

M 私が日本にいたころは日本代表選手が海外に行くパターンが多かったんですけど、そうじゃなくてもいけるということ。代表じゃなくてもいいと思う。今はSNSで情報収集も発信もできる。オーストラリアもすでに20人以上います。とにかく一回出ちゃ。一回出れば...

H 出ればなんとかなる!

M そう!ワタシなんとかするしかない!って(笑)

●スペインの女子サッカーリーグ

2023年ワールドカップ優勝を成し遂げたスペイン女子サッカー。そのプロリーグは全78チーム、4部で構成される。日本人プレーヤーは現在20人。そのトップリーグがLiga F(リーガフェ)。FCバルセロナ、レアル・マドリード他全国16チーム。ホーム&アウェイ全チーム総当りで9月から6月まで30ゲーム。上位3チームはチャンピオンズリーグに出場できる。下位2チームが自動降格。実質的に2部リーグにあたるのが1ª Federación(プリメラフェデラシオン)。2人の所属するSE AEM(Lleida)他、全国14チーム。ホーム&アウェイ全チーム総当りで行われます。上位1位が自動昇格。上位2~5位でプレーオフを行い1チームが昇格します。

千葉さん、田中さん、二人の活躍はこちらで!
https://twitter.com/SEAEM_1925



【AMICSの眼】

(日本代表とかじゃなく)ワタシ自身にこだわって海外生活とサッカーにチャレンジし続ける二人。心が洗われるようなインタビューでした。こういう女子がスペインリーグに20人もいる。すごいじゃん日本女子!

(取材/文 原正彦)